

地域住民との連携による農空間保全

資源向上取組地区

よこやま

横山地区農空間保全協議会（和泉市）

- 横山地区は、平成19年度に横山土地改良区が設立され、土地改良区を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- 多面的機能支払交付金を活用するため、平成27年度に新たに横山地区農空間保全協議会を設立し、横山地区の地域資源の適切な保全管理と健全な農空間が継続して育むことが出来るようになった。

活動開始前の状況や課題

- 地元農家による営農が行われていたが、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題。
- 整備完了後から約10年近くが経過し、一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題。



取組内容

- 協議会内にある4つの農業団地を基本単位として、草刈、泥上げ等の維持管理を行ってきたが、令和2年度から水路、農道等の長寿命化の活動にも着手している。
- 横山小学校と連携し、農業団地で生産されている「いちご」ハウスでの農業体験を行い、地域との交流活動にも取り組んでいる。



【地区概要】

取組面積	36.80ha	[田0.00ha 畑36.80ha]
農業用施設	開水路 12.5km 農道 11.5km	ため池 10箇所
主な構成員	土地改良区、小学校、自治会	
交付金	736千円（農地維持） 613千円（資源向上）	

取組の効果

- 土地改良区が中心となって、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。
- 横山小学校の小学生による農業体験を実施することにより、地域の農産物にふれることで、こどもの地域農業への理解促進に寄与している。

